
Gloom an eccentric

みり

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Gloom an eccentric

【Nコード】

N7993J

【作者名】

みり

【あらすじ】

かつて、神も女神も天界も地獄も、何も存在しなかった時代。栄華を誇っていた魔女の国。そこではすべてが不思議で満ち溢れていた、全てが美しく優美な女性の楽天地だった。

しかし、世界に大木くく世界樹くくが現れそ、の国は力を奪われやがて衰退し、魔女たちも全て息絶えた。そう、言われていた。

（これは北欧神話をもとにしたオリジナル作品です。）

Gloom an Eccentric 1

ラグナロクを支える一本の世界樹、ユグドラシル。

その枝は全世界に広がり、幹は天を突き抜けてそびえ立ち、天上の妖精の国アールヴヘイムを支ええいる。

大木は三本の長く伸びた根によって支えられ、一本の根は霧の巨人達が棲むヨトウンヘイムに伸び、根の先端に知恵の巨人ミーミルが守る叡智^{エイチ}の泉が湧き出ており、根はこの水を吸収する。

もう一本の根は死者の国ニヴルヘイム伸びて、フヴェルゲルミルの泉に達している。そこには恐ろしい龍ニースホッグが巢食い、絶えずその根を齧^{カジ}り続けている。

最後の一本は天界アースガルズへと伸び、過去・現在・未来の3女神ノルンたち、ウルズ・ヴェルザンディ・スクルドらが守護している、あらゆる物を清める泉ウルザンヴルンへとつながっている。

その中の一本、死者の国ニヴルヘイムのフヴェルゲルミルに伸びる根に、誰にも存在を知られることなくただひっそりと暮らす女がいた。

名はイヴ。

かつて絶滅したといわれる魔女の生き残りだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7993j/>

Gloom an eccentric

2010年10月9日01時46分発行